

向日市まちづくり市民アンケート 結果報告

向 日 市

目次

■ 調査の概要

調査の概要	1
-------	---

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 性別	3
問2 年齢	3
問3 居住地	4
問4 居住歴	4
問5 居住地を向日市に決めた理由	5

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 向日市の住み心地	6
問7 良いと思う点	8
問8 良くないと思う点	10
問9 定住意向	12
問10 雇用・経済の活発化	14
問11 少子化対策	16
問12 安心・安全	18
問13 よくみる広報媒体	20
問14 広報紙の改善	22
問15 まちの将来	24

■ 施策の満足度・重要度について

問16 満足度	26
重要度	28

■ 自由意見

自由意見	32
------	----

向日市まちづくり市民アンケート 結果報告

■ 調査の概要

1 調査目的

市民の皆様にとって向日市を“ふるさと”と思ってもらえるよう、平成 27 年度から平成 31 年度までを計画期間とする市の最上位計画「ふるさと向日市創生計画」の策定に取り組むにあたり、市政について、市民の皆様が日頃どのように感じておられるかを把握し、計画づくりに反映するために実施しました。

2 調査方法

調査名称	向日市まちづくり市民アンケート
調査地域	向日市全域
対象者	18 歳以上の市民
対象抽出方法	無作為抽出
抽出数	2,000 件
実施期間	平成 27 年 9 月 17 日から 9 月 30 日まで
調査方法	郵送により配布・回収

3 調査票の回収状況

調査票の有効回収数は 963 件、有効回収率 48.2%の結果を得ました。

4 分析についての注意点

- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計値が 100%にならない場合があります。
- ・「2 つ以上を選択回答」の設問については、百分率の合計が 100%を超える場合があります。
- ・図中で「n」は回答者数を示しています。

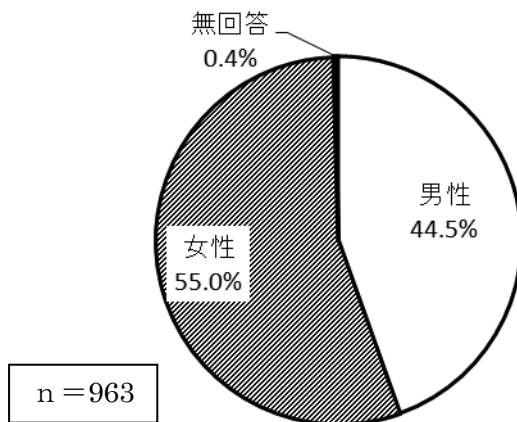
5 調査項目

回答者属性	性別、年齢、居住地、居住暦、向日市選択理由
住み心地やまちづくりの取組について	住み心地や定住意向について ○向日市の住み心地、良い点、良くない点 ○定住意向
	まちづくり課題について ○雇用や経済の活性化について ○少子化対策について ○地域の安全・安心について ○広報媒体、広報紙の充実について
	まちの将来について ○まちの将来について
	施策の重要度・満足度について ○文化やコミュニティに関すること。 ○健康や福祉に関すること。 ○にぎわいや活力に関すること。 ○快適な生活環境に関すること。 ○道路の整備に関すること。 ○安心・安全に関すること。 ○土地利用や都市整備に関すること。 ○情報発信全般に関すること。 ○まちづくり全般に関すること。
自由意見	自由記述

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 男性	2 女性	
------	------	--



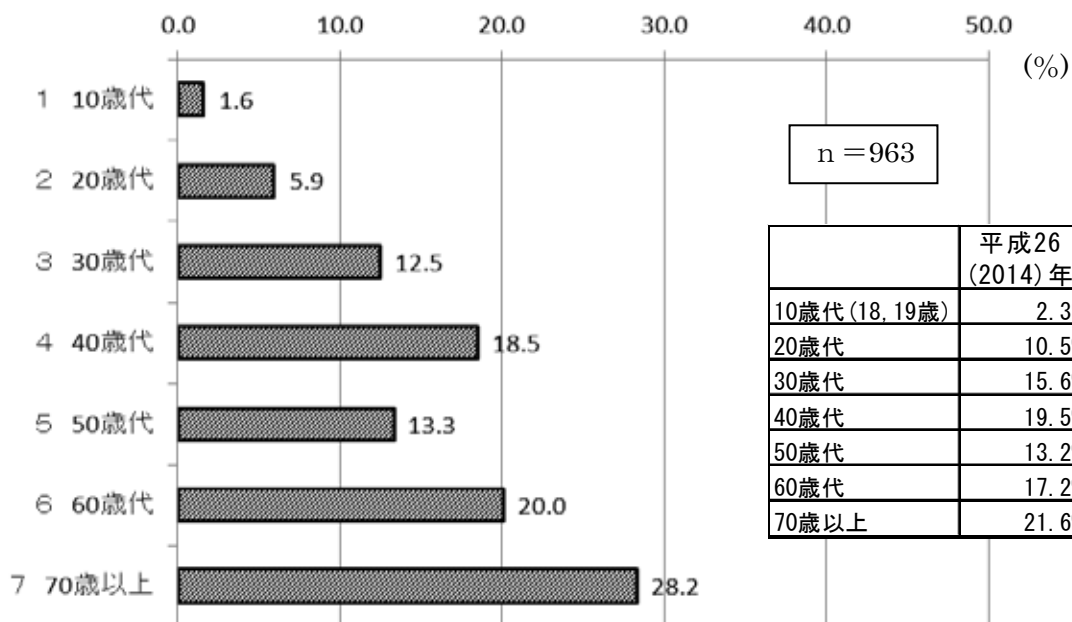
【女性からの回答がやや多い】

○回答者の男女比率は、女性がやや多くなっていますが、差はわずかで、ほぼ半数ずつになっています。

※向日市現状(H26)は男 48.9%、女 51.9%。

問2 あなたの年齢は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。（平成27年9月1日現在でお答えください）

1 10歳代	4 40歳代	7 70歳以上
2 20歳代	5 50歳代	
3 30歳代	6 60歳代	



	平成26 (2014) 年
10歳代 (18, 19歳)	2.3%
20歳代	10.5%
30歳代	15.6%
40歳代	19.5%
50歳代	13.2%
60歳代	17.2%
70歳以上	21.6%

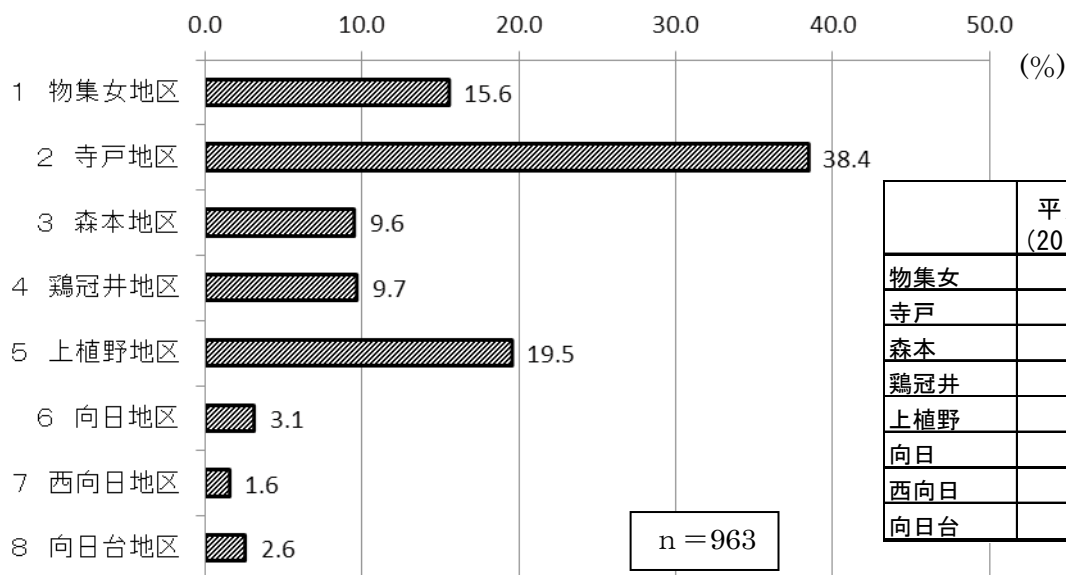
【60歳以上で約半数を占める】

○年代別にみると、70歳以上が28.2%と最も高い比率を占め、60歳代（20.0%）を加えると48.2%とほぼ半数の回答を占めています。

○向日市現状（H26）の年齢層と比べて回答者の年齢層は高くなっています。

問3 あなたのお住まいは。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 物集女地区	4 鶏冠井地区	7 西向日地区
2 寺戸地区	5 上植野地区	8 向日台地区
3 森本地区	6 向日地区	



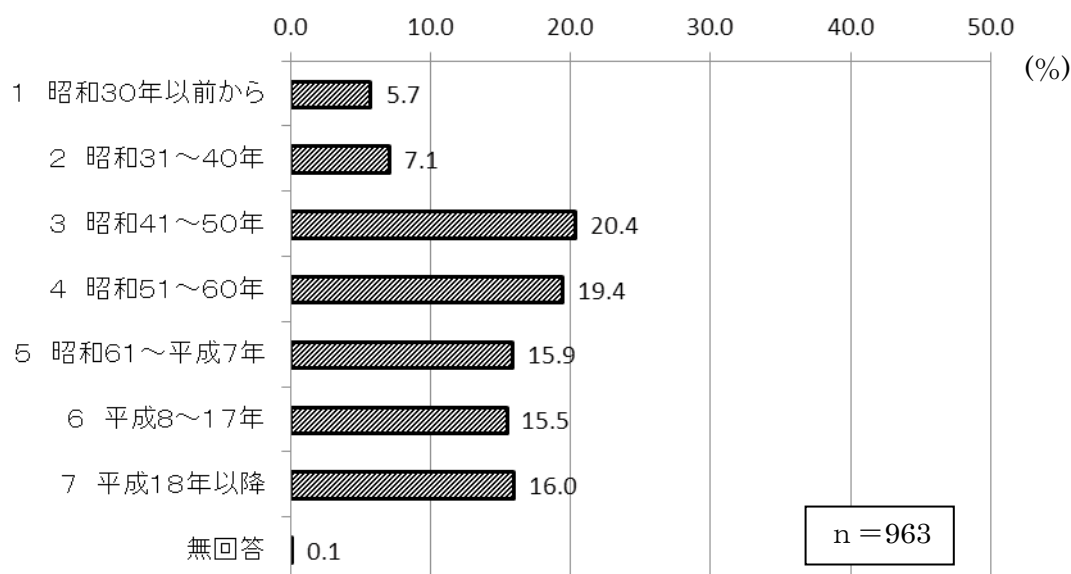
	平成26 (2014) 年
物集女	15.7%
寺戸	40.7%
森本	8.4%
鶏冠井	9.7%
上植野	19.5%
向日	1.8%
西向日	2.4%
向日台	1.8%

【現状の地区別の人口構成に近似した回答】

○回答者を地区別にみると、各地区において、向日市現状（H26）に近い回答が得られています。

問4 あなたはいつ頃から向日市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 昭和30年以前から	5 昭和61～平成7年
2 昭和31～40年	6 平成8～17年
3 昭和41～50年	7 平成18年以降
4 昭和51～60年	



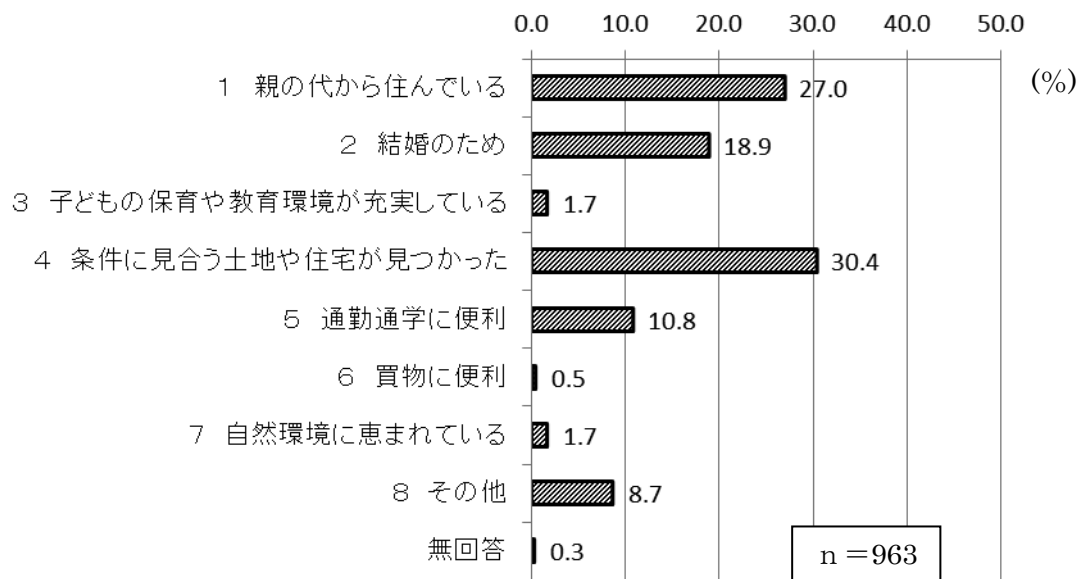
【30年以上居住する回答者が半数】

○昭和60年以前（30年以上前）から居住する回答者が52.6%と過半数を占めています。居住歴10年未満（平成18年以降）からの回答も16.0%得られています。

問5 お住まいを向日市に決めたのはなぜですか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

1 親の代から住んでいる	
2 結婚のため	
3 子どもの保育や教育環境が充実している	
4 条件に見合う土地や住宅が見つかった	
5 通勤通学に便利	
6 買物に便利	
7 自然環境に恵まれている	
8 その他（具体的に	

--



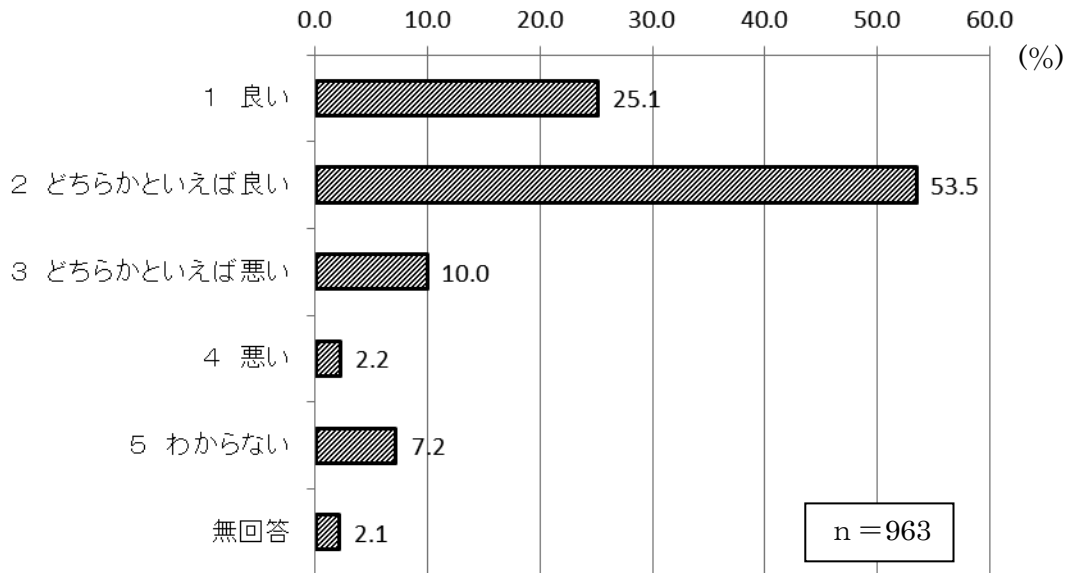
【住宅・用地の確保、結婚などが居住の契機に】

○居住地を向日市に決めた理由としては、「条件に見合う土地や住宅が見つかった」が30.4%と多く、以下、「親の代から住んでいる」「結婚のため」「通勤通学に便利」が続いています。

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 あなたは向日市の住み心地について、どう思いますか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

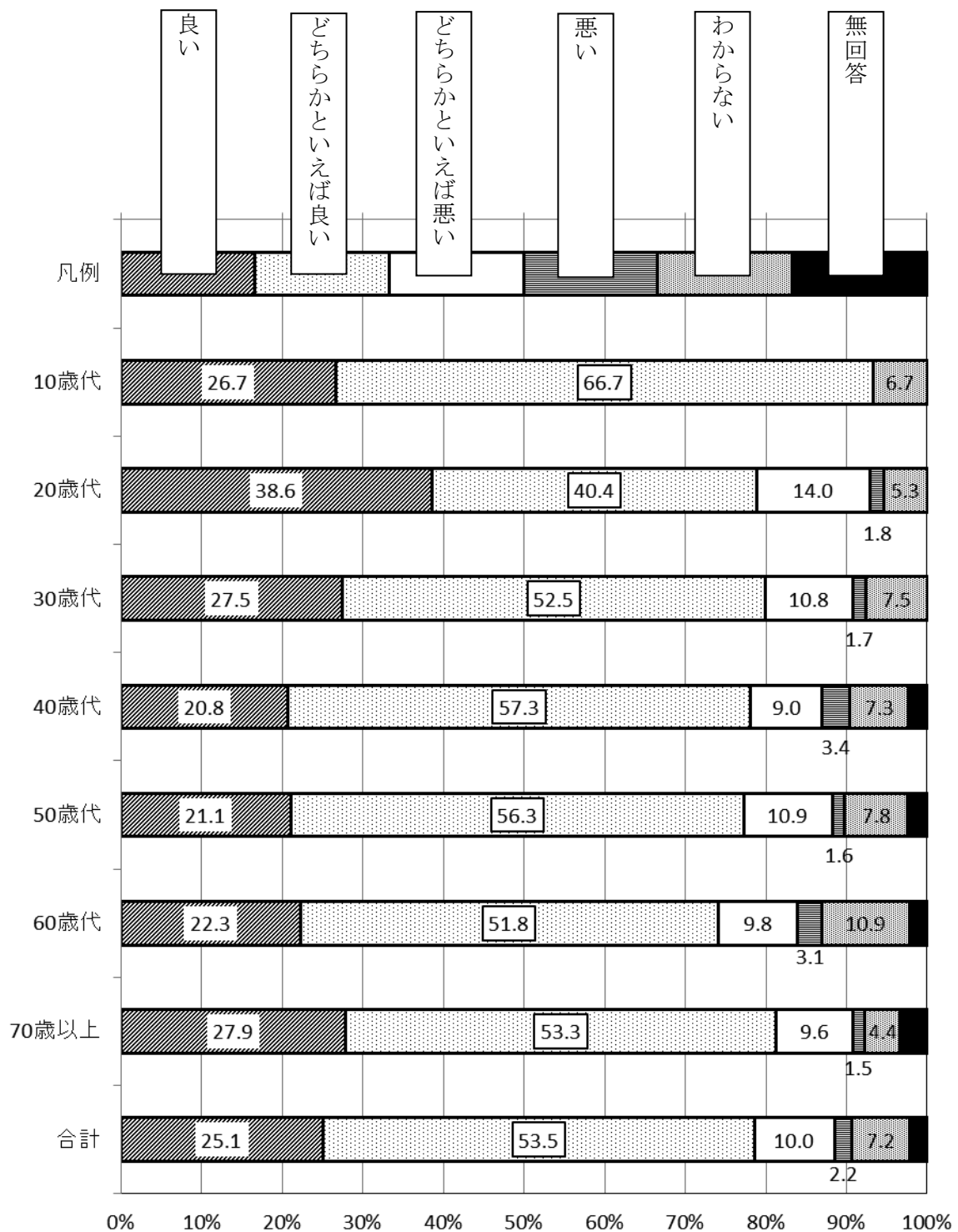
- | | |
|--------------|---------|
| 1 良い | 4 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば悪い | |



【住みよいと評価する意見が8割程度】

- 向日市の住み心地については、「良い」が25.1%、「どちらかといえば良い」が53.5%で、合わせて78.6%の市民が向日市を住み心地の良いまちだと評価しています。
- 「悪い」と評価する意見は2.2%、「どちらかといえば悪い」も10.0%にとどまっています。

【年代別集計】

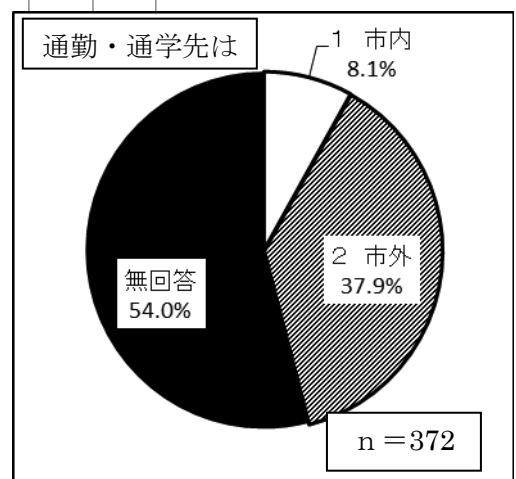
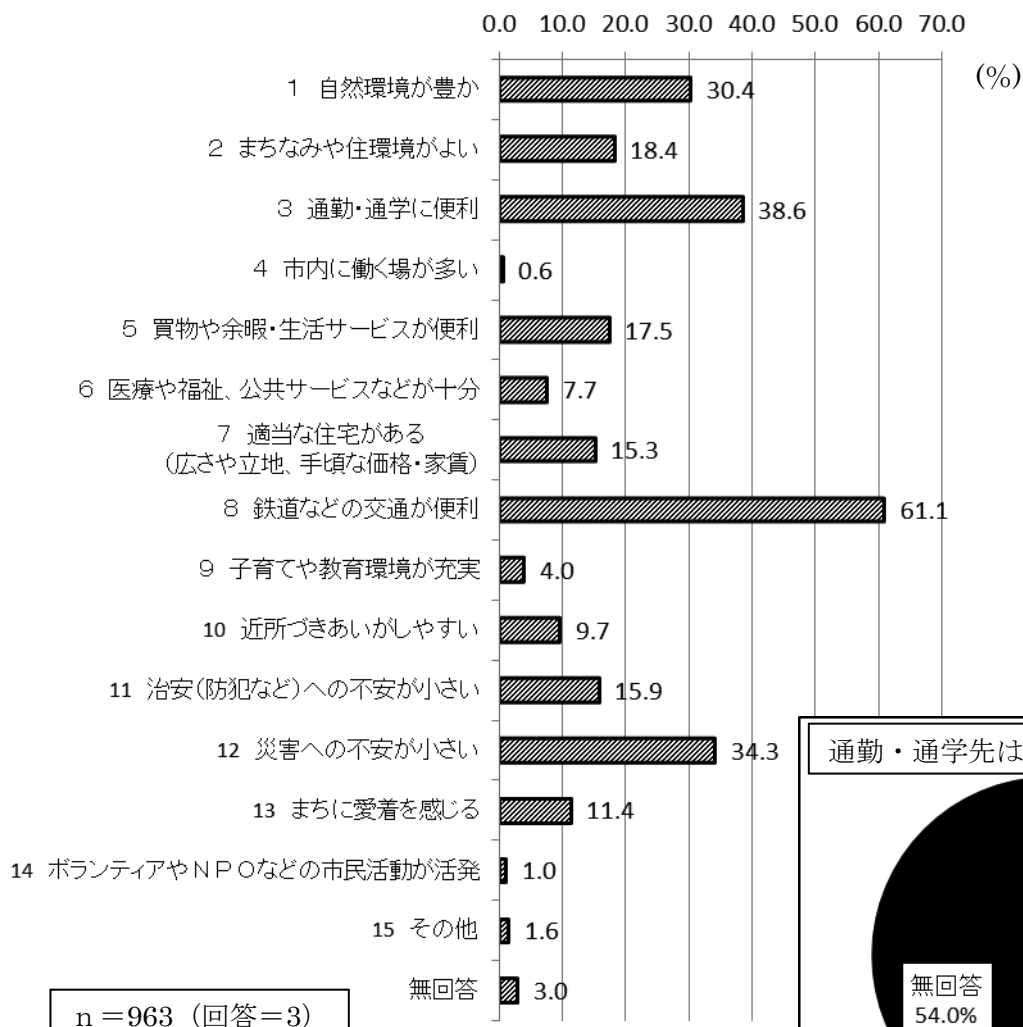


【住みよいと評価する意見が8割程度】

○年代別にみると、「良い」と評価する意見は20歳代で38.6%と最も多くなっています。
 ○「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると、各年代とも8割程度が向日市の住み心地を良いと評価しています。

問7 向日市に住んでいて、良いと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

- 1 自然環境が豊か
- 2 まちなみや住環境がよい
- 3 通勤・通学に便利（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）
- 4 市内に働く場が多い
- 5 買物や余暇・生活サービスが便利
- 6 医療や福祉、公共サービスなどが十分
- 7 適当な住宅がある（広さや立地、手頃な価格・家賃）
- 8 鉄道などの交通が便利
- 9 子育てや教育環境が充実
- 10 近所づきあいがしやすい
- 11 治安（防犯など）への不安が小さい
- 12 災害への不安が小さい
- 13 まちに愛着を感じる
- 14 ボランティアやNPOなどの市民活動が活発
- 15 その他（具体的に



【良い点は利便性】

○住んでいて良い点としては、「鉄道などの交通が便利」が61.1%と突出して多く選択され、「通勤・通学に便利」が38.6%で続くなど、利便性を評価する意見が上位となっています。

○以下、「災害への不安が小さい」(34.3%)、「自然環境が豊か」(30.4%)がそれぞれ3割以上の意見を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	鉄道などの交通が便利 66.7%	通勤・通学に便利 53.3%	自然環境が豊か 40.0%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	鉄道などの交通が便利 64.9%	通勤・通学に便利 50.9%	災害への不安が小さい 29.8%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	鉄道などの交通が便利 65.8%	通勤・通学に便利 59.2%	自然環境が豊か 25.8%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	鉄道などの交通が便利 53.4%	通勤・通学に便利 40.4%	自然環境が豊か 29.8%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	鉄道などの交通が便利 68.8%	通勤・通学に便利 49.2%	災害への不安が小さい 32.8%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	鉄道などの交通が便利 62.7%	災害への不安が小さい 41.5%	自然環境が豊か 34.2%

	第1位	第2位	第3位
70 歳以上	鉄道などの交通が便利 58.1%	災害への不安が小さい 47.8%	自然環境が豊か 30.1%

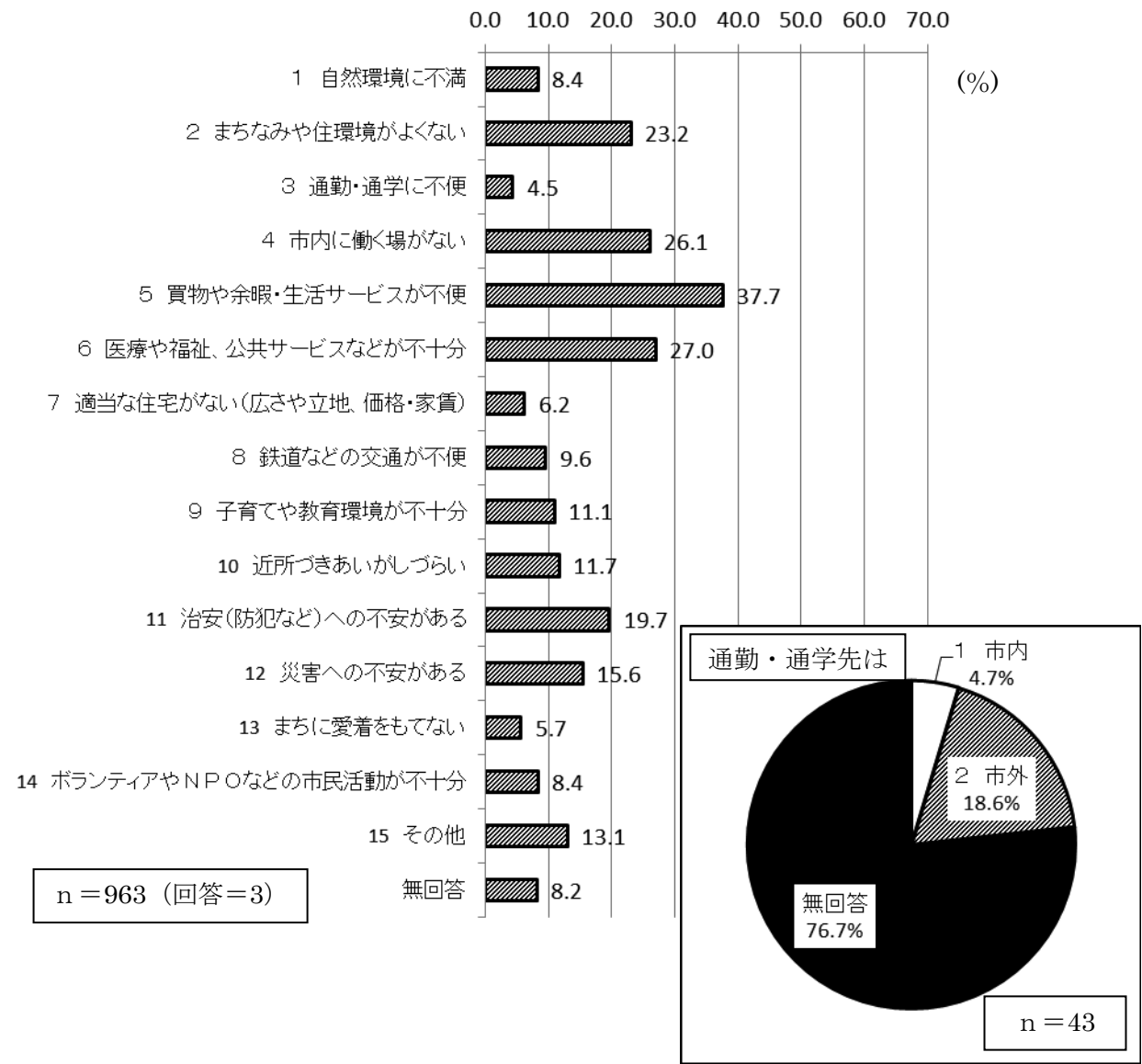
【全ての年代で「鉄道などの利便性」が第1位】

○年代別にみると、「鉄道などの交通が便利」が全ての年代で第1位となっています。

○10～50 歳代で「通勤・通学に便利」が第2位、60～70 歳以上では「災害への不安が小さい」が第2位になっているほか、30～40 歳代及び60～70 歳以上で第3位となっている「自然環境が豊か」を含めた4項目で全ての年代の上位3項目を占めています。

問 8 向日市に住んでいて、良くないと思う点は何ですか。次のなかから 3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境に不満	
2 まちなみや住環境がよくない	
3 通勤・通学に不便（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場がない	
5 買物や余暇・生活サービスが不便	
6 医療や福祉、公共サービスなどが不十分	
7 適当な住宅がない（広さや立地、価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が不便	
9 子育てや教育環境が不十分	
10 近所づきあいがしづらい	
11 治安（防犯など）への不安がある	
12 災害への不安がある	
13 まちに愛着をもてない	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分	
15 その他（具体的に	



【「買物や余暇サービス」「医療・福祉・公共サービス」「働く場」が上位】

○住んでいて良くない点としては、「買物や余暇・生活サービスが不便」が37.7%と最も多くの意見を集め、以下「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」(27.0%)、「市内に働く場がない」(26.1%)などが3割程度となっています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	
10 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 40.0%	まちなみや住環境がよくない 20.0%	子育てや教育環境が不十分 20.0%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 42.1%	市内に働く場がない 36.8%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 24.6%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 40.0%	治安（防犯など）への不安がある 30.0%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 26.7%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 35.0%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 25.3%	市内に働く場がない 24.2%

	第1位	第2位	
50 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 34.3%	まちなみや住環境がよくない 32.0%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.0%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 40.4%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 33.7%	まちなみや住環境がよくない 29.0%

	第1位	第2位	第3位
70 歳以上	買物や余暇・生活サービスが不便 38.2%	市内に働く場がない 24.6%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 22.8%

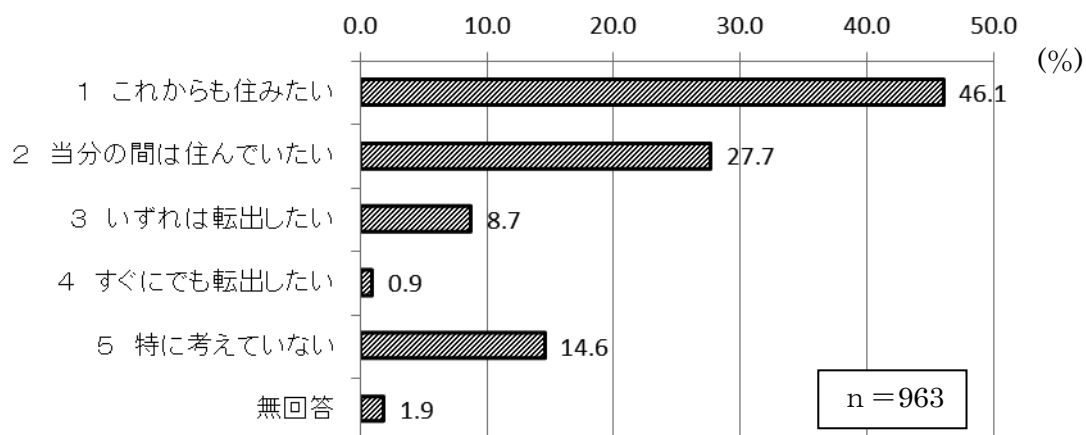
【全ての年代で「買物や余暇・生活サービスが不便」が第1位】

○年代別にみると、「買物や余暇・生活サービスが不便」が全ての年代で第1位となっています。

○その他の項目では各年代とも「まちなみや環境が良くない」「市内に働く場がない」「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」の4項目が上位を占めています。

問9 あなたはこれからも向日市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

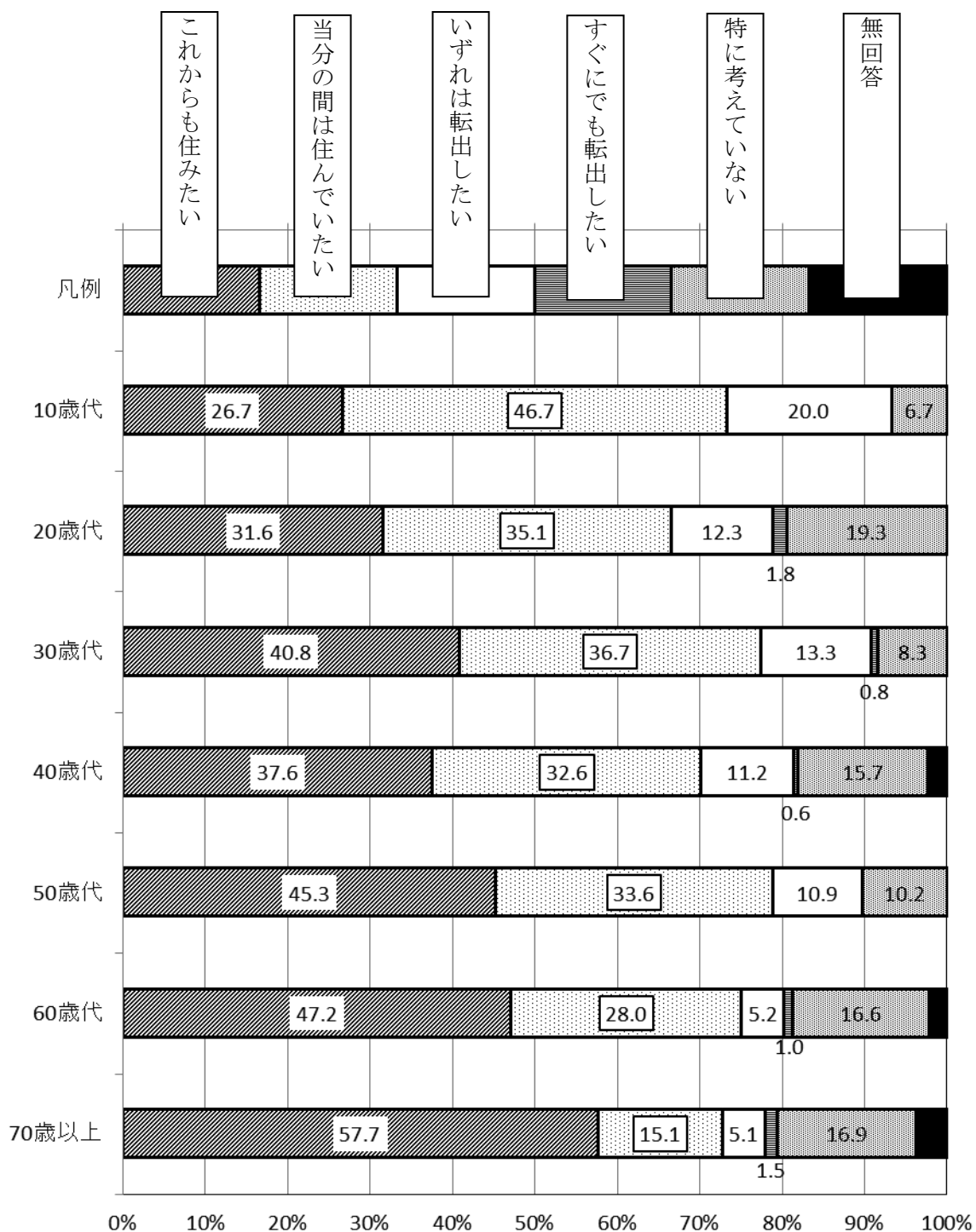
- 1 これからも住みたい
- 2 当分の間は住んでいたい
- 3 いずれは転出したい
- 4 すぐにでも転出したい
- 5 特に考えていない



【7割が継続的な定住意向】

○向日市に対する定住意向は「これからも住みたい」（46.1%）と「当分の間は住んでいたい」（27.7%）を合わせて、73.8%が継続的な定住意向を示しています。「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」は併せて9.6%にとどまっています。

【年代別集計】



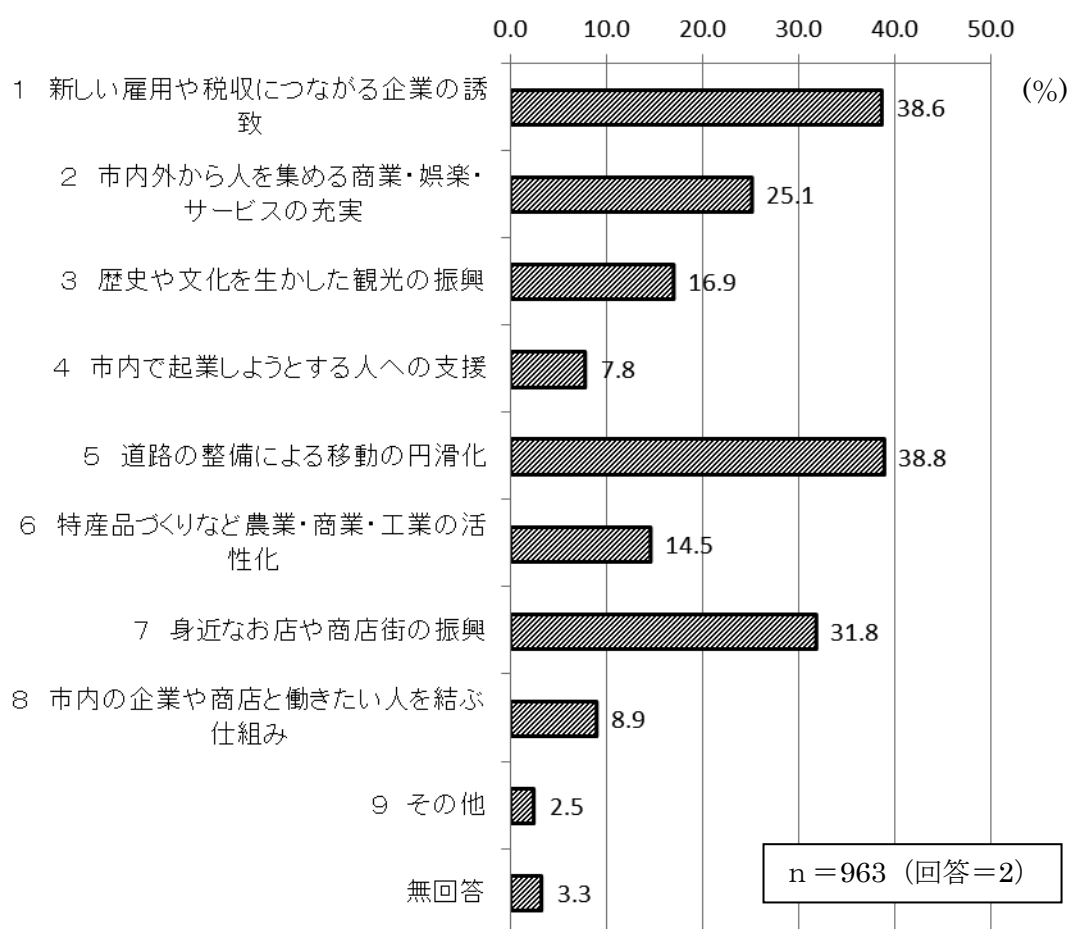
【ほぼすべての世代で7割以上が定住意向を示す】

- 年代別にみると、「これから住みたい」「当分の間は住んでいたい」を合わせた定住意向は20歳代を除くすべての世代で7割以上となっています。
- 最も低い20歳代でも定住意向は66.7%に達しており、「いずれは転出したい」「すぐにも転出したい」という転出意向も14.1%にとどまっています。

問 10 雇用やまちの経済を活発にしていくためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に重視するものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 新しい雇用や税収につながる企業の誘致
- 2 市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実
- 3 歴史や文化を生かした観光の振興
- 4 市内で起業しようとする人への支援
- 5 道路の整備による移動の円滑化
- 6 特産品づくりなど農業・商業・工業の活性化
- 7 身近なお店や商店街の振興
- 8 市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み
- 9 その他（具体的に

）



【「移動の円滑化」「企業誘致」「お店・商店街振興」が上位項目】

○雇用や経済の活性化のためには、「道路の整備による移動の円滑化」(38.8%)、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」(38.6%)、「身近なお店や商店街の振興」(31.8%)がそれぞれ3割以上の回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 46.7%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 33.3%	歴史や文化を活かした観光の振興 26.7% 道路の整備による移動の円滑化 26.7% 身近なお店や商店街の振興 26.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 40.4%	道路の整備による移動の円滑化 31.6%	身近なお店や商店街の振興 31.6%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	道路の整備による移動の円滑化 40.0%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 32.5%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 31.7% 身近なお店や商店街の振興 31.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	道路の整備による移動の円滑化 38.8%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 37.6%	身近なお店や商店街の振興 27.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 43.8%	道路の整備による移動の円滑化 43.0%	身近なお店や商店街の振興 30.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 42.0%	道路の整備による移動の円滑化 37.3%	身近なお店や商店街の振興 29.5%

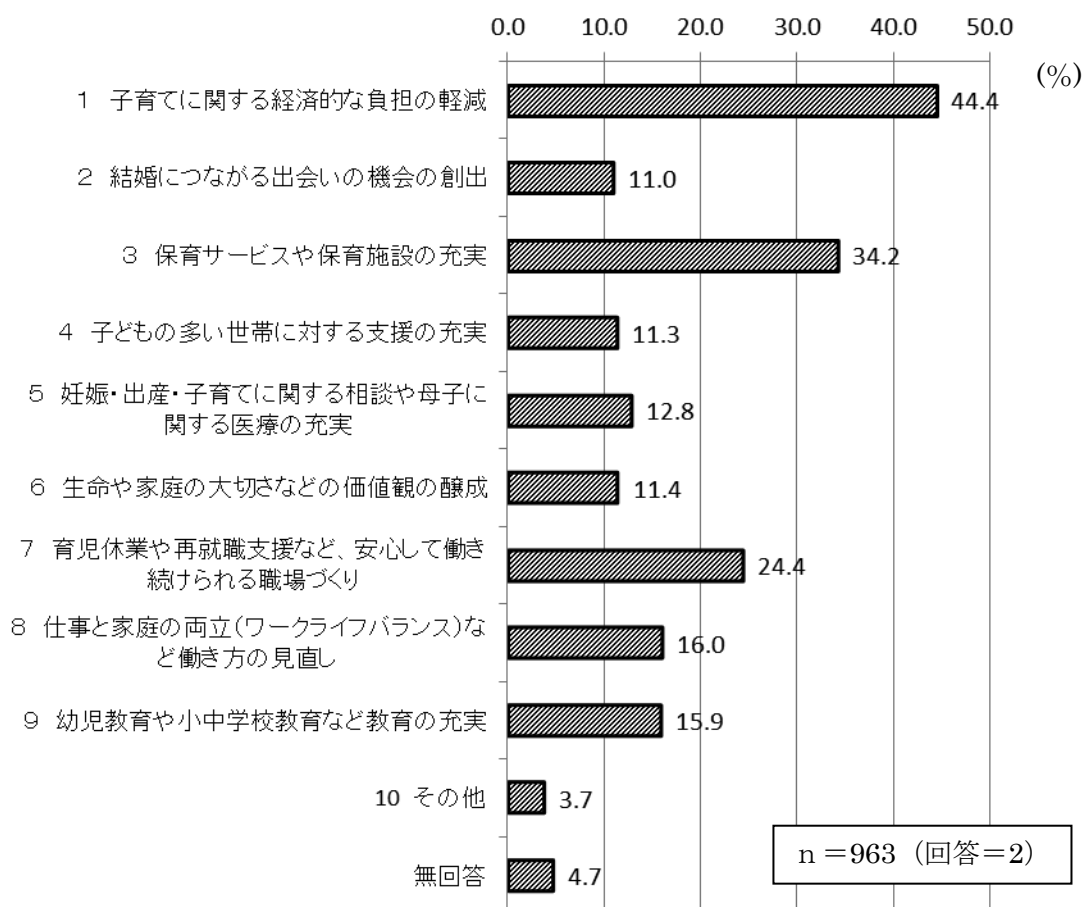
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳以上	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 40.1%	道路の整備による移動の円滑化 39.7%	身近なお店や商店街の振興 37.1%

【各年代とも上位項目は同様の傾向も、第 1 位項目では差異】

- 年代別にみると、各年代とも全体で上位の「道路の整備による移動の円滑化」、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」、「身近なお店や商店街の振興」の 3 項目に、比較的若い世代で多く選択された「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」を加えた項目が上位項目となっています。
- 10・20 歳代で「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」、30・40 歳代で「道路の整備による移動の円滑化」、50 歳以上で「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」がそれぞれ第 1 位となっています。

問 1 1 少子化に歯止めをかけるため、向日市では特にどんな取組みに力を入れるべきだとお考えですか。特に大切と思われるものを2つ選び、右欄にご記入ください。

- 1 子育てに関する経済的な負担の軽減
- 2 結婚につながる出会いの機会の創出
- 3 保育サービスや保育施設の充実
- 4 子どもの多い世帯に対する支援の充実
- 5 妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実
- 6 生命や家庭の大切さなどの価値観の醸成
- 7 育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり
- 8 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し
- 9 幼児教育や小中学校教育など教育の充実
- 10 その他（具体的に



【子育ての経済的な負担の軽減、保育サービスや環境の向上に多くの回答】

- 少子化対策として力を入れることとしては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」を選択する回答者が多く、44.4%に達しています。
- 「保育サービスや保育施設の充実」(34.2%)、「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」(24.4%)など、仕事と育児の両立に関することも多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位		
10 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 53.3%	保育サービスや保育施設の充実 26.7%	子どもの多い世帯に対する支援の充実 26.7%	妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実 26.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 56.1%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 35.1%	保育サービスや保育施設の充実 28.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 63.3%	保育サービスや保育施設の充実 35.1%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 28.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 49.4%	保育サービスや保育施設の充実 33.1%	幼児教育や小中学校教育など教育の充実 22.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	保育サービスや保育施設の充実 46.9%	子育てに関する経済的な負担の軽減 35.2%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 32.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	保育サービスや保育施設の充実 39.4%	子育てに関する経済的な負担の軽減 32.1%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.4%

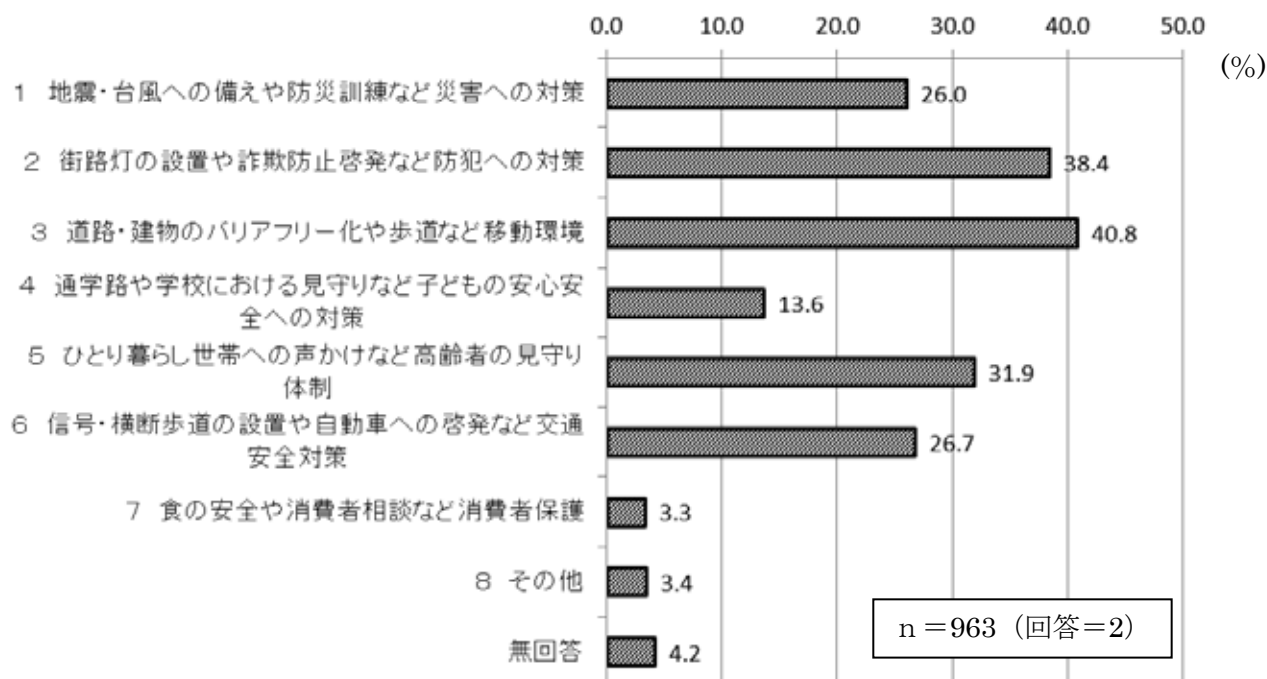
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳以上	子育てに関する経済的な負担の軽減 43.0%	保育サービスや保育施設の充実 26.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 23.5%

【年代別にみても、概ね全体と同様の傾向】

○年代別にみると、10～40 歳代及び 70 歳以上においては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第 1 位で「保育サービスや保育施設の充実」が第 2 位（20 歳代除く）、50～60 歳代ではその第 1 位と第 2 位が逆転していますが、各年代ともこの 2 項目が重視され、これに続く「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」を合わせて、概ね全体と年代別で同様の傾向を示しています。

問 1 2 あなたが暮らしている地域の安心・安全について、不安に思うことはありますか。
特に不安に思うことを2つまで選び、右欄にご記入ください。

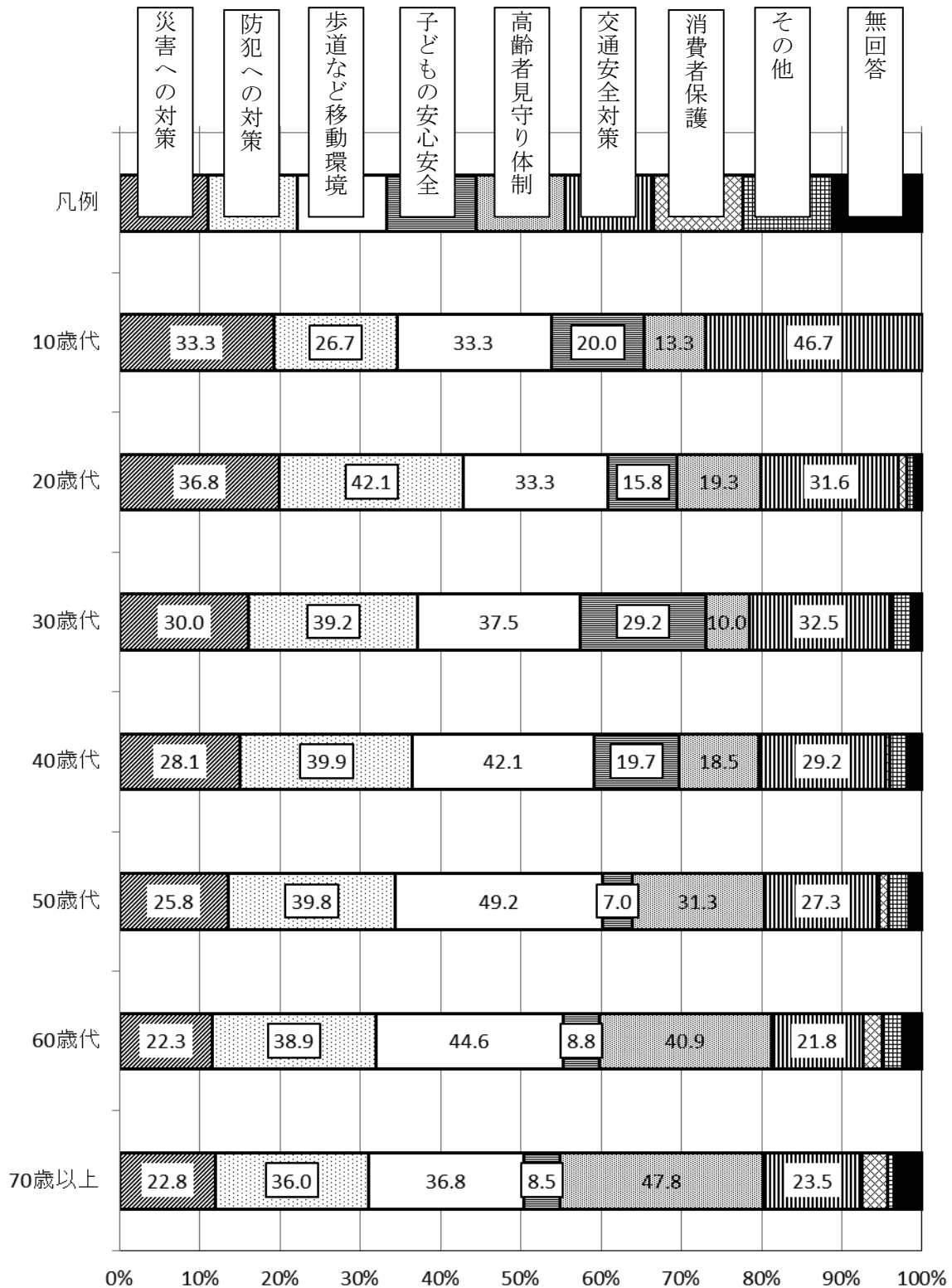
- 1 地震・台風への備えや防災訓練など災害への対策
- 2 街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策
- 3 道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境
- 4 通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策
- 5 ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制
- 6 信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策
- 7 食の安全や消費者相談など消費者保護
- 8 その他（具体的に)



【多様な分野への関心】

○「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」の 40.8%をはじめ、「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」(38.4%)、「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」(31.9%) の3項目が3割以上、さらには「交通安全対策」や「災害対策」も 25%を超えており、安全・安心に関する多様な分野への関心を示す結果となりました。

【年代別集計】

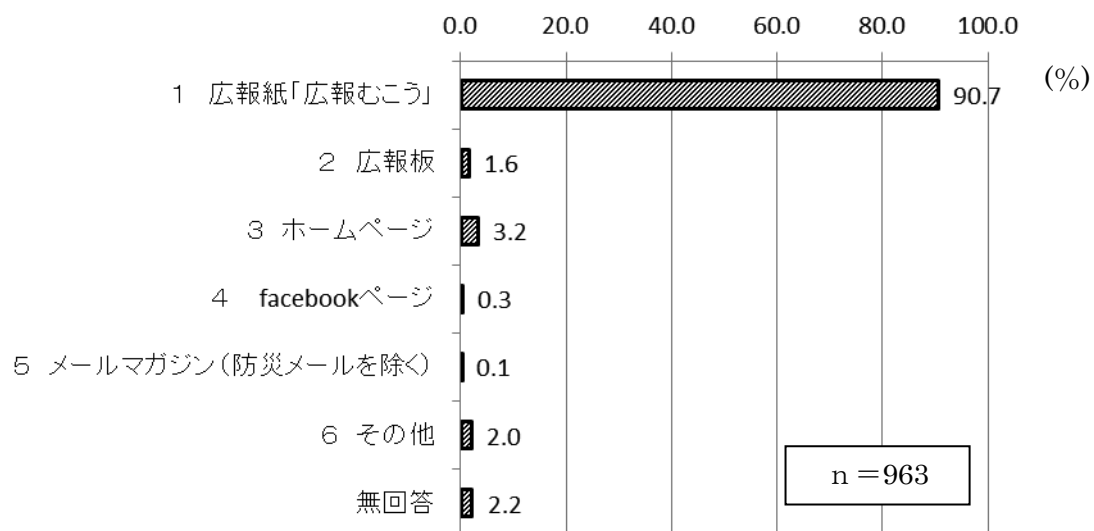


【ライフステージに応じて関心を持つ安心・安全の分野も変化】

○不安に思うことの第1位を年代別にみると、10歳代では「信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策」、20～30歳代では「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」、40～60歳代では「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」、そして70歳以上では「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」と、年代（ライフステージ）によって関心をもつ分野が変化しています。

問 13 市の広報媒体について、日頃もっともよくご覧になるものを1つ選び、右欄にご記入ください。

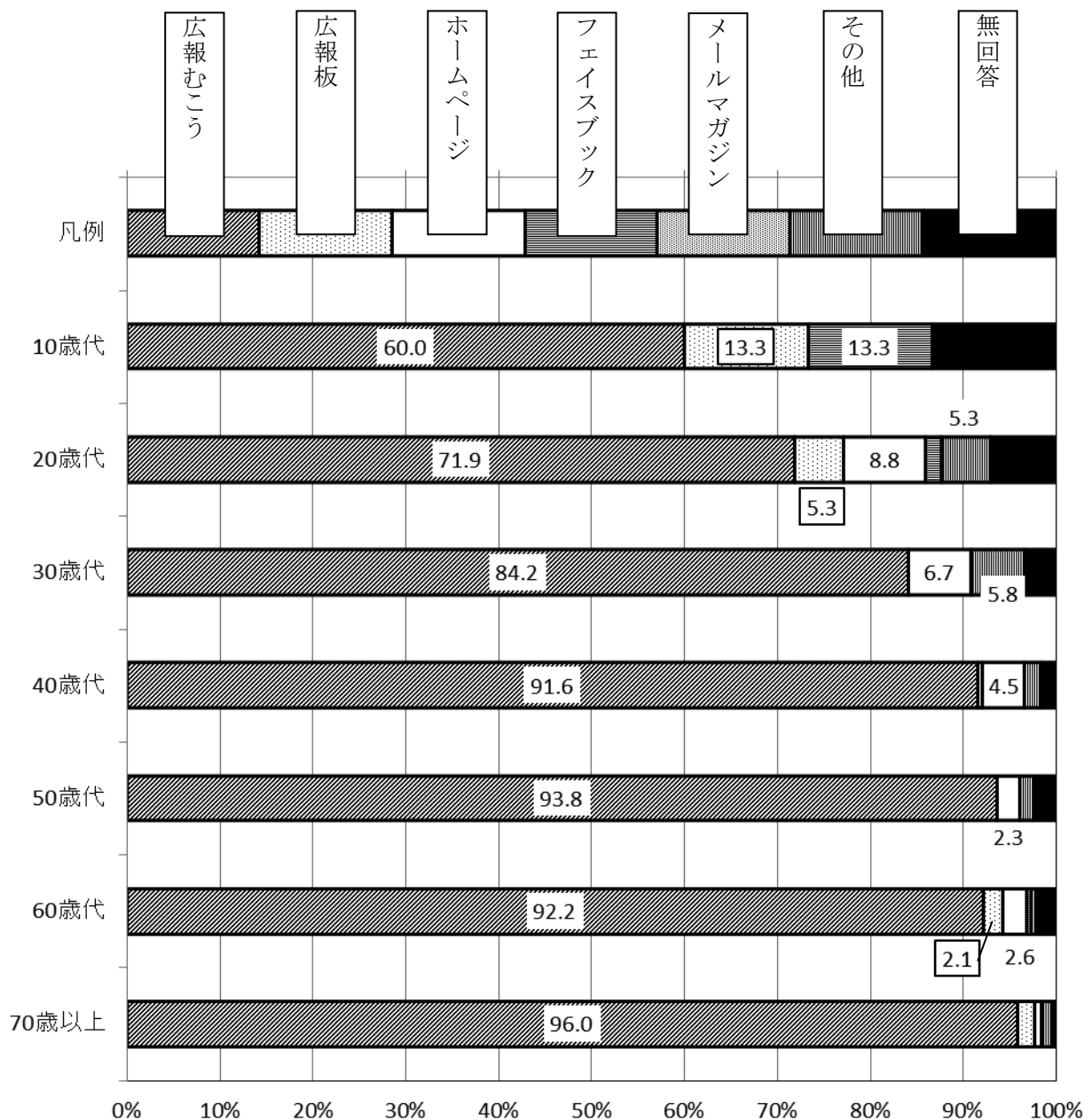
1 広報紙「広報むこう」	
2 広報板	
3 ホームページ	
4 facebook ページ	
5 メールマガジン（防災メールを除く）	
6 その他（具体的に	



【日頃よくみる広報手段は「広報むこう」が圧倒的】

○日頃よくみる市の広報媒体としては「広報むこう」が圧倒的で、90.7%となっています。

【年代別集計】

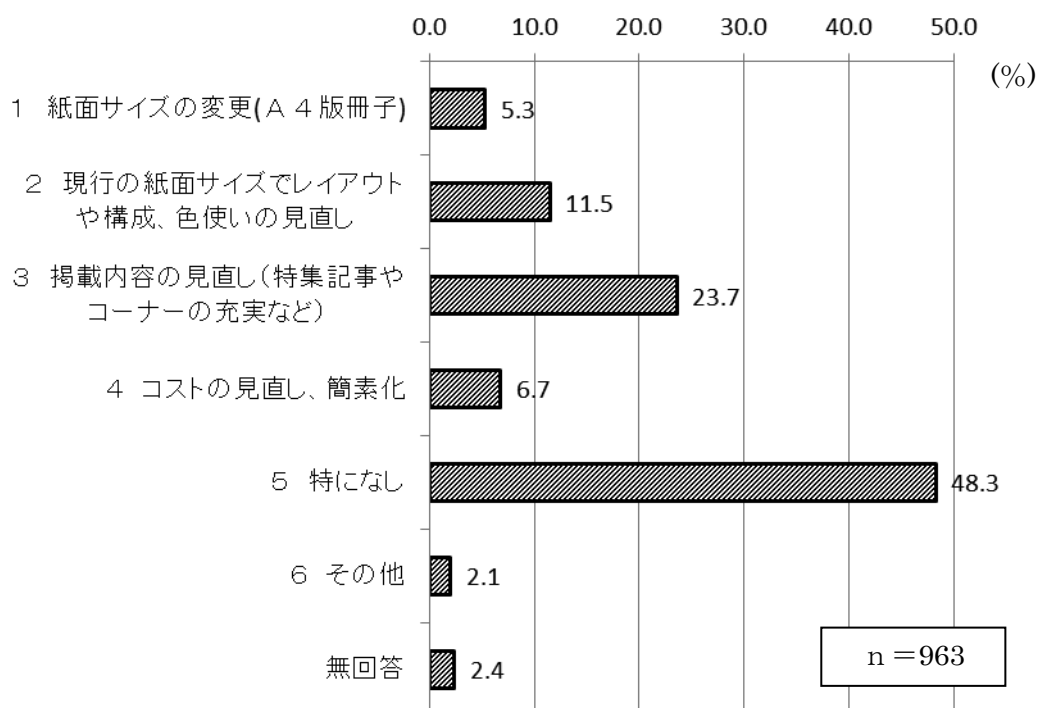


【各年代で広報に大きな需要。若い年代で facebook 等の利用も】

- 年代別にみても、広報むこうを選択する回答が各年代とも多く、この傾向は年齢が高い層ほど強くなっています。
- 若い層では、10歳代で広報板や facebook、20歳代や30歳代ではホームページなどの回答もわずかにみられます。

問 1 4 本市の広報紙について、より良くするために最も重要と思われるものを1つ選び、右欄にご記入ください。

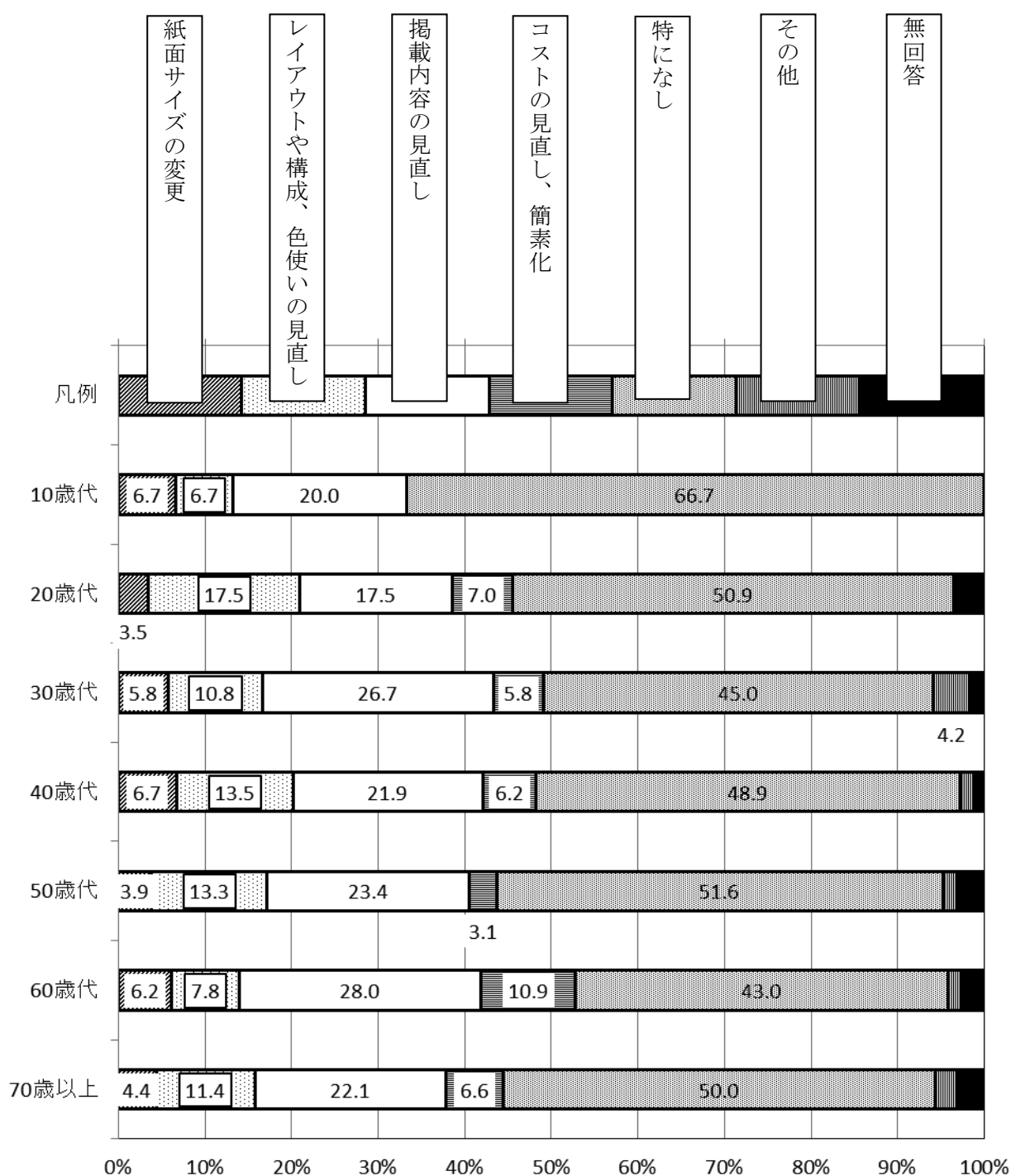
- 1 紙面サイズの変更（A 4 版冊子）
- 2 現行の紙面サイズでレイアウトや構成、色使いの見直し
- 3 掲載内容の見直し（特集記事やコーナーの充実など）
- 4 コストの見直し、簡素化
- 5 特になし
- 6 その他（具体的に ）



【「掲載内容の見直し」を求める声も】

- 「特になし」が 48.3%とほぼ半数を占めています。
- より良くするための方法としては「掲載内容の見直し（特集記事やコーナーの充実など）」が 23.7%となっています。

【年代別集計】

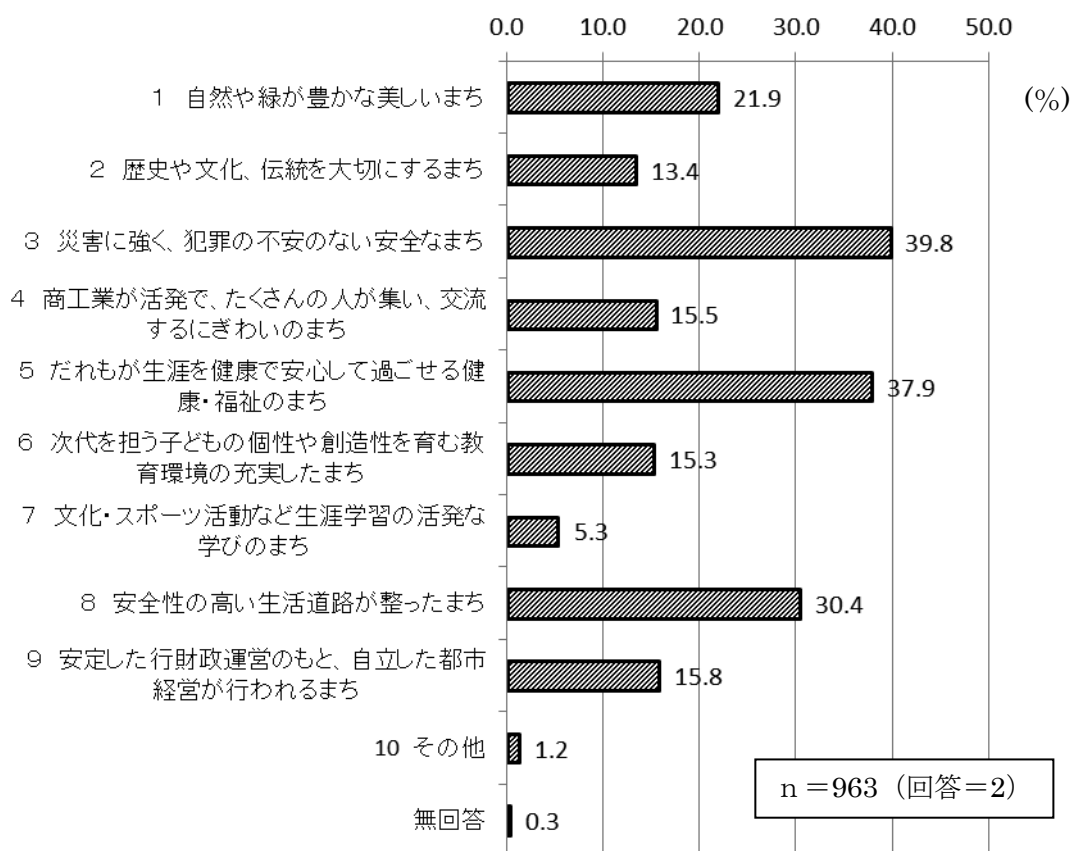


【各年代とも半数は「特になし」。60歳代等で掲載内容見直しにニーズ】

- 年代別にみると、10歳代の66.7%をはじめ、各年代とも「特になし」の回答が最も多くなっています。
- 30歳代や60歳代では「特になし」の比率が全体に比べてやや低くなっている一方、「掲載内容の見直し（特集記事やコーナーの充実など）」を選択する回答者が30%弱とやや多くなっています。

問 15 今後、向日市がどんなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

1 自然や緑が豊かな美しいまち	
2 歴史や文化、伝統を大切にするまち	
3 災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち	
4 商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち	
5 だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち	
6 次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち	
7 文化・スポーツ活動など生涯学習の活発な学びのまち	
8 安全性の高い生活道路が整ったまち	
9 安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち	
10 その他（具体的に	）



【「安心」「安全」「健康」に多くの回答】

○上位の回答としては、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が39.8%が第1位で、「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」(37.9%)、「安全性の高い生活道路が整ったまち」(30.4%)と続いており、誰にとっても身近な事柄である安心・安全・健康に関する項目が多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第3位
10 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 33.3%	安全性の高い生活道路が整ったまち 33.3%
		災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 26.7%
		安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち 26.7%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	安全性の高い生活道路が整ったまち 38.6%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 33.3%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 28.1%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 49.2%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.8%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 27.5%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 44.4%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 31.5%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.9%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 43.0%	安全性の高い生活道路が整ったまち 29.7%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 28.9%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 42.0%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 40.9%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.6%

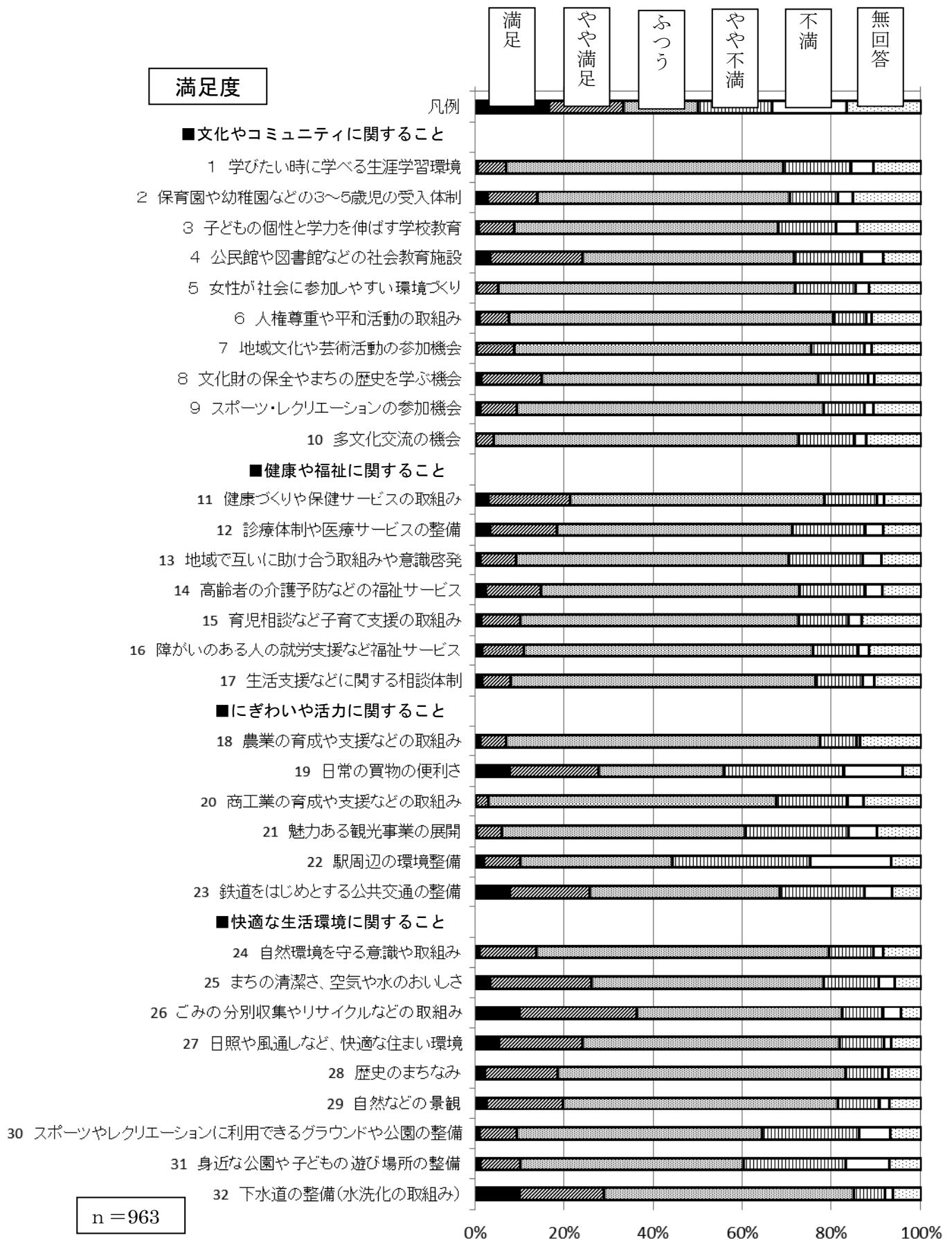
	第1位	第2位	第3位
70 歳以上	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 44.5%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 38.2%	安全性の高い生活道路が整ったまち 28.3%

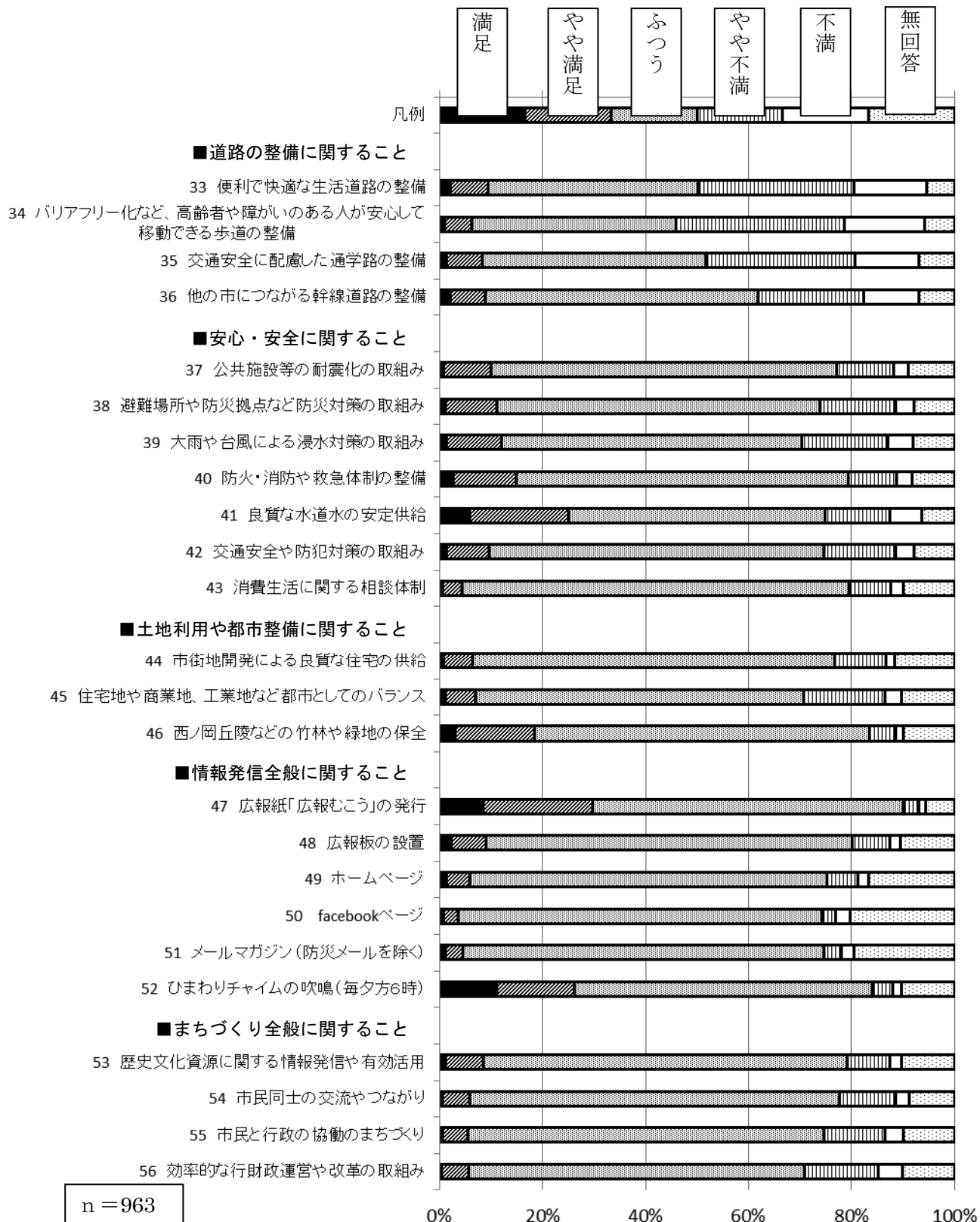
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○年代別にみると、順位は異なりますが、全ての年代で「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」「安全性の高い生活道路が整ったまち」の3項目が上位を占めています。

■ 施策の満足度・重要度について

問 16 あなたは、まちの住みごちや行政の施策について、日ごろどのように感じておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで○印をつけてください。





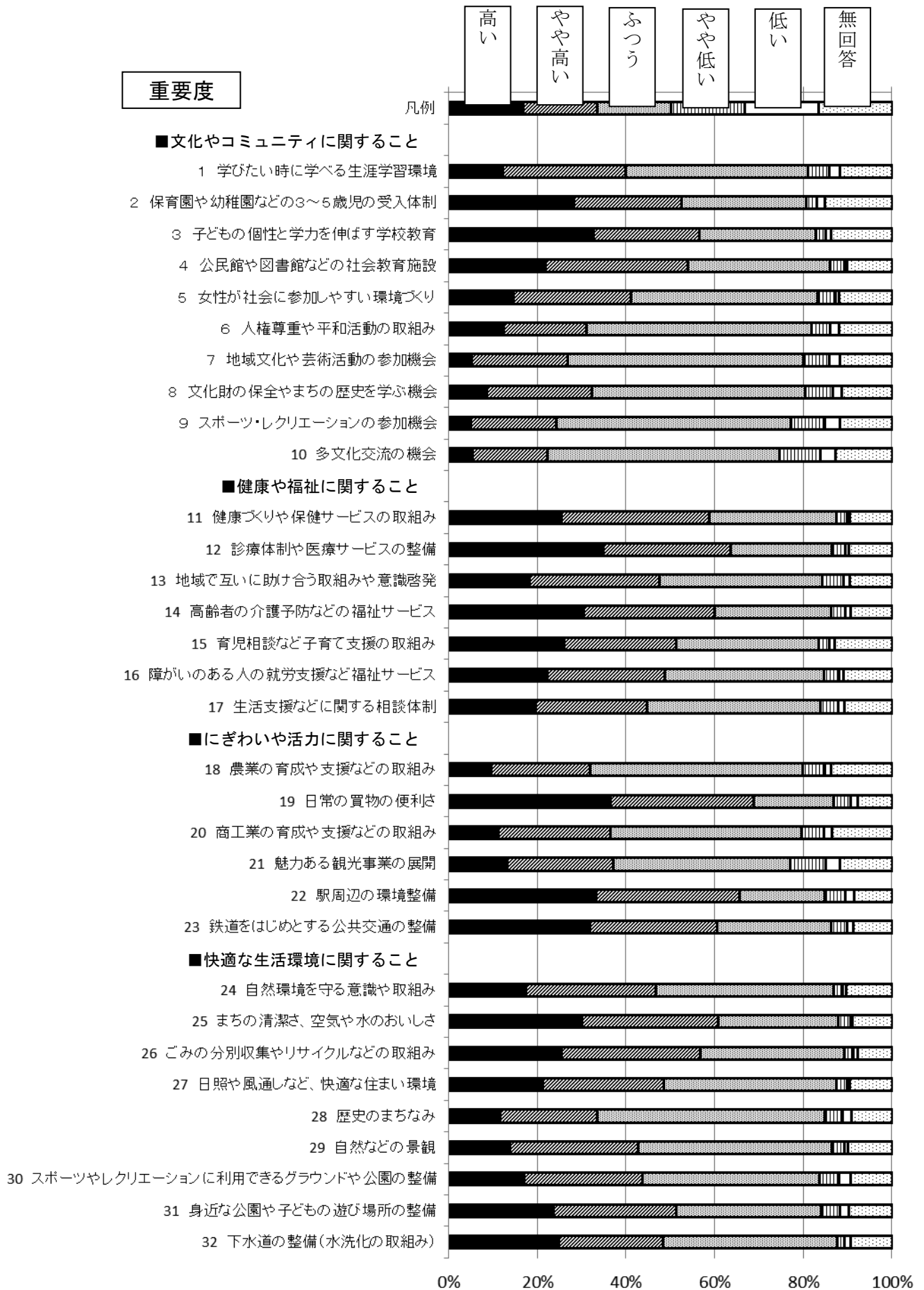
【満足度上位】

選択項目	係数ポイント
47 広報紙「広報むこう」	3. 3 4
52 ひまわりチャイム	3. 3 4
32 下水道の整備	3. 3 0
26 ごみ分別・リサイクル	3. 3 0
27 日照など快適な住まい環境	3. 1 8

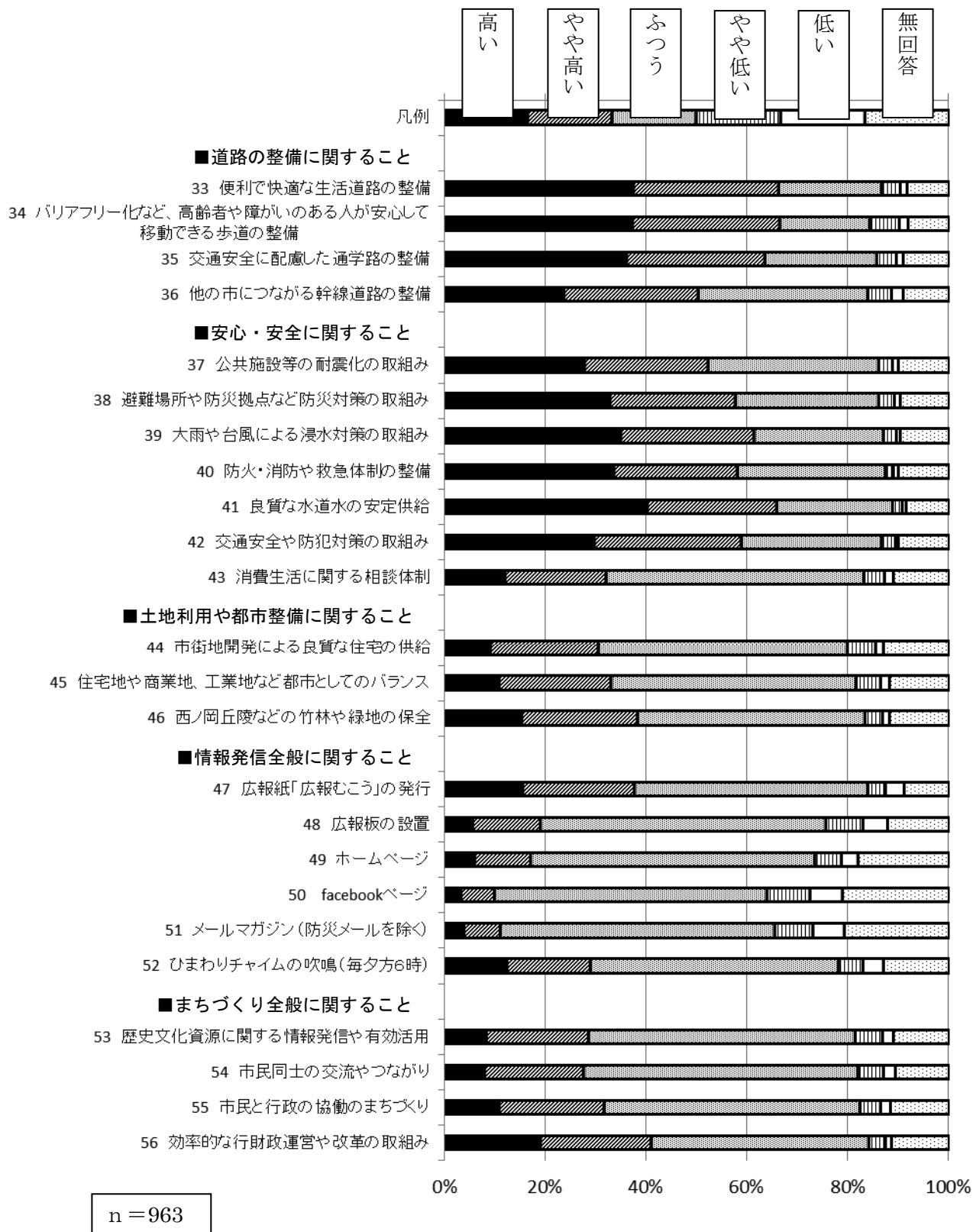
【満足度下位】

選択項目	係数ポイント
34 安心して移動できる歩道整備	2. 4 0
22 駅周辺の環境整備	2. 4 1
33 便利で快適な生活道路	2. 5 0
35 交通安全に配慮した通学路	2. 5 3
31 身近な公園・遊び場	2. 6 7

※)「係数ポイント」は「満足」を5点～「不満」を1点としたものの平均値。



n = 963



【重要度上位】

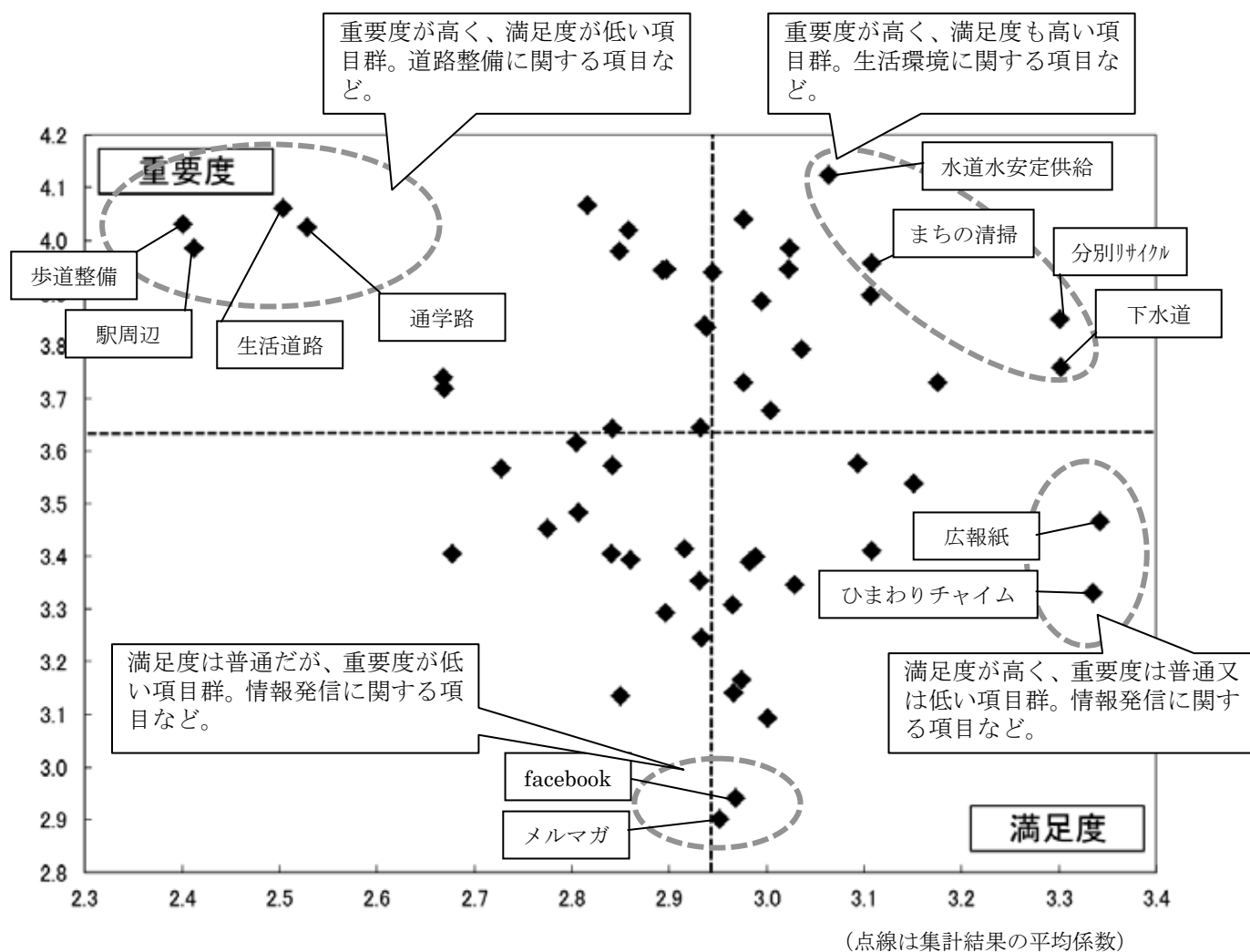
選択項目	係数ポイント
41 良質な水道水の安定供給	4. 1 2
19 日常の買物の便利さ	4. 0 7
33 便利で快適な生活道路	4. 0 6
12 診療・医療サービスの整備	4. 0 4
34 安心して移動できる歩道整備	4. 0 3

【重要度下位】

選択項目	係数ポイント
50 facebook ページ	2. 9 0
51 メールマガジン（防災メール除く）	2. 9 4
48 広報板の設置	3. 0 9
10 多文化交流の機会	3. 1 4
49 ホームページ	3. 1 4

※)「係数ポイント」は「高い」を5点～「低い」を1点としたものの平均値。

参考／係数ポイントでみる各項目の散布図



■満足度

【広報や住環境に良い評価、道路関連に厳しい評価】

○満足度が高い項目としては「広報紙『広報むこう』」をはじめとする広報及び下水道やリサイクルなどの住環境関連があります。一方満足度の低い項目としては、歩道整備をはじめ、道路関連の項目が多くみられます。

■重要度

【身近な生活環境の利便性を重視する意見が多い】

○市民が重要度を高く感じている項目としては、水道水の安定供給や道路関連の項目など、生活環境の利便性に関する項目がみられます。

参考／各調査項目 満足度・重要度の係数ポイント

■文化やコミュニティに関すること

	満足度	重要度
1 学びたい時に学べる生涯学習環境	2.81	3.48
2 保育園や幼稚園などの3～5歳児の受入体制	3.00	3.88
3 子どもの個性と学力を伸ばす学校教育	2.85	3.98
4 公民館や図書館などの社会教育施設	3.04	3.79
5 女性が社会に参加しやすい環境づくり	2.84	3.57
6 人権尊重や平和活動の取組み	2.99	3.40
7 地域文化や芸術活動の参加機会	2.93	3.24
8 文化財の保全やまちの歴史を学ぶ機会	3.03	3.35
9 スポーツ・レクリエーションの参加機会	2.97	3.16
10 多文化交流の機会	2.85	3.13

■健康や福祉に関すること

	満足度	重要度
11 健康づくりや保健サービスの取組み	3.11	3.89
12 診療体制や医療サービスの整備	2.98	4.04
13 地域で互いに助け合う取組みや意識啓発	2.84	3.64
14 高齢者の介護予防などの福祉サービス	2.95	3.94
15 育児相談など子育て支援の取組み	2.94	3.83
16 障がいのある人の就労支援など福祉サービス	2.98	3.73
17 生活支援などに関する相談体制	2.93	3.64

■にぎわいや活力に関すること

	満足度	重要度
18 農業の育成や支援などの取組み	2.98	3.39
19 日常の買物の便利さ	2.82	4.07
20 商工業の育成や支援などの取組み	2.78	3.45
21 魅力ある観光事業の展開	2.68	3.40
22 駅周辺の環境整備	2.41	3.98
23 鉄道をはじめとする公共交通の整備	3.02	3.95

■快適な生活環境に関すること

	満足度	重要度
24 自然環境を守る意識や取組み	3.00	3.68
25 まちの清潔さ、空気や水のおいしさ	3.11	3.96
26 ごみの分別収集やリサイクルなどの取組み	3.30	3.85
27 日照や風通しなど、快適な住まい環境	3.18	3.73
28 歴史のまちなみ	3.11	3.41
29 自然などの景観	3.09	3.58
30 スポーツやレクリエーションに利用できるグラウンドや公園の整備	2.73	3.57
31 身近な公園や子どもの遊び場所の整備	2.67	3.74
32 下水道の整備(水洗化の取組み)	3.30	3.76

■道路の整備に関すること

	満足度	重要度
33 便利で快適な生活道路の整備	2.50	4.06
34 バリアフリー化など、高齢者や障がいのある人が安心して移動できる歩道の整備	2.40	4.03
35 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53	4.03
36 他の市につながる幹線道路の整備	2.67	3.72

■安心・安全に関すること

	満足度	重要度
37 公共施設等の耐震化の取組み	2.94	3.84
38 避難場所や防災拠点など防災対策の取組み	2.90	3.94
39 大雨や台風による浸水対策の取組み	2.86	4.02
40 防火・消防や救急体制の整備	3.02	3.98
41 良質な水道水の安定供給	3.06	4.12
42 交通安全や防犯対策の取組み	2.89	3.94
43 消費生活に関する相談体制	2.92	3.41

■土地利用や都市整備に関すること

	満足度	重要度
44 市街地開発による良質な住宅の供給	2.93	3.35
45 住宅地や商業地、工業地など都市としてのバランス	2.84	3.41
46 西ノ岡丘陵などの竹林や緑地の保全	3.15	3.54

■情報発信全般に関わること

	満足度	重要度
47 広報紙「広報むこう」の発行	3.34	3.47
48 広報板の設置	3.00	3.09
49 ホームページ	2.97	3.14
50 facebookページ	2.95	2.90
51 メールマガジン(防災メールを除く)	2.97	2.94
52 ひまわりチャイムの吹鳴(毎夕方6時)	3.34	3.33

■まちづくり全般に関わること

	満足度	重要度
53 歴史文化資源に関する情報発信や有効活用	2.97	3.31
54 市民同士の交流やつながり	2.90	3.29
55 市民と行政の協働のまちづくり	2.86	3.39
56 効率的な行財政運営や改革の取組み	2.80	3.61

自由意見

●歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○歴史・文化、情報発信・PR（25件）

テーマ	意見例（カッコ内数字は特に多かった意見の合計）
歴史・文化	・長岡京の府外・海外へのPR ・江戸時代の「向日町」の魅力発信を ・歴史好きの人に歴史のまちの売り出し ・歴まち認定や向日神社の国文化財登録指定を受けた全国への知名度UPと地域活性化を ・建物デザインに長岡京イメージ ・学校の社会見学で大極殿訪問 ・遺跡整備に費用かけすぎないように
観光	・観光振興によるまちの活性化、観光バス用の道路整備 ・歴史を観光資源として活かせるまちに ・道路、案内板、休憩所、トイレ、食事処、レンタサイクル等による長岡京巡りを
情報発信・PR	・情報発信が弱い（新聞など）、歴史をもっと前面に出した広報を ・KARA-1グランプリなどイベントで盛り上げを ・ふるさととして自己発信するまちに ・西日本で一番小さい市をもっとPR

○産業の活性化（88件）

テーマ	意見例
工業	・企業誘致で財政強化と働く場づくり
商業の活性化	・東向日イオン撤退で買物不便、代わる商業を(46) ・商店街の活性化 ・高齢者が買い物しやすい商店を
農業の活性化	・休耕地などの支援 ・道の駅など地元野菜の直販機会の充実 ・筍や竹を扱う商店の拡充

○都市基盤の整備（153件）

テーマ	意見例
道路整備	・物集女街道の整備(34) ・狭小・急勾配な道路の整備(63) （高齢者や子ども・障害のある人、妊婦さんなどが安全な道路整備、バリアフリー化、生活道路・幹線道路整備等） ・自転車が安全に通行できる道路整備、電線地中化 等
駅周辺整備	・東向日駅周辺整備（環境整備、駐輪場等）(11) ・西向日駅周辺整備（並木道整備、駐輪場等）(9) ・JR向日町駅周辺整備（道路、駅東口等）(6)
公園、グラウンド、広場等整備	・子どもが遊べる公園・広場(13) ・多世代が交流できる広場、グラウンド ・ウォーキング、並木道整備
住宅	・住宅地の整備、既存住宅の改善・高層化促進

○その他（18件）

テーマ	意見例
競輪場	・競輪場は今後どうなるのか、公園等として活用を(11)
その他	・洛西口駅、桂川駅によるまちの影響把握 ・適正な都市計画を

●人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○子育て、少子化対策（３８件）

テーマ	意見例
結婚、妊娠、出産	・若者の出会いの場づくり ・新婚・子育て世帯支援 ・子育て応援企業、ＮＰＯ等の支援
保育	・保育園・保育サービスの充実(16) （育休中の上の子どもを休園させる制度の改善、アレルギー対応、英語・音楽教育等） ・子どもの遊び場・機会づくり（児童館整備・充実） ・子育て相談の充実（支援センターの充実）
その他	・子どもがすくすく育つまち、次世代が育つまち ・保健師の育成（親の立場に立てる意識啓発）

○健康・福祉（３９件）

テーマ	意見例
健康・医療	・大規模病院の誘致、医療施設の充実 ・気軽に相談できる健康窓口、健診方法の改善 ・軽運動による高齢者の健康づくり
高齢者	・老人ホームなど高齢者施設（福祉サービス）の整備 ・高齢者が安心、安全して暮らせるまち、見守り体制づくり ・子どもと高齢者がふれあえるまち ・墓地等の相談窓口
障がいのある人	・障がいのある人への福祉の充実
地域福祉	・生活保護制度の適正な運用

○環境・資源循環（３９件）

テーマ	意見例
廃棄物	・ごみ出しルール of 徹底、変更（前日出し可能に）(6) ・収集回数の増加、収集場所の増加（個人宅ごとなど） ・ごみの有料化を
自然環境	・自然の保全（竹林、田園、畑等） ・都市化より緑化推進 ・桜並木の保全
生活環境	・ペットのフン等のルール化（条例、罰則等） ・個人宅における自主的な環境整備（個人植樹等） ・空き家、ごみ屋敷対策 ・高架下の騒音対策

○防災・消防救急・防犯・交通安全（５６件）

テーマ	意見例
防災	・浸水・水害対策の強化（寺戸、物集女等）(6) ・避難場所の確保・強化 ・災害時連絡体制の強化（市民への周知、呑龍トンネル情報のインターネット提供強化等） ・防災訓練、防災マップ充実
消防救急	・休日・夜間救急体制の強化（受け入れられなかった） ・AEDマップの作成・配布 ・消防団の活動PR（消防団員の確保）
防犯	・外灯の設置（西向日駅周辺、トンネル内、その他危険場所へのLED照明）(7) ・警察によるパトロール強化

	・防犯カメラの増強 ・学校・保育所防犯、図書館トイレを明るく
交通安全	・交通マナーの向上（児童・生徒の登下校、子ども・年配者への自転車マナーの指導）(7) ・路上駐車解消（市民体育館周辺等） ・信号の設置 ・暴走族・バイクなどの騒音対策

○公共交通（４５件）

テーマ	意見例
新たな公共交通	・小型巡回バス・コミュニティバスの運行を（商業施設、公共施設、市役所、駅等）(20) ・巡回バスは不要・反対(2) ・商業施設・公共施設（市役所、図書館）へのシャトルバス
バス交通	・既存バスの充実（本数の増加、路線の拡充、ベンチ設置などバス停の充実、バス停箇所数の増加等）(10)
その他	・市内交通空白地の解消 ・高齢者に対する交通手段確保

○上下水道（２５件）

テーマ	意見例
上水道	・水道料金が高く、見直しを。(18) ・水質の向上を（美味しくない、白濁することがある、におうときがある） ・水道管の計画的な更新
下水道	・下水道料金が低い

○学校教育（２０件）

テーマ	意見例
教育内容	・教員の資質向上（子どもの意見を聞く、無関心にならない、少人数学級など）
教育環境	・小学校区選択性の導入 ・学校トイレの改善（美化、水洗化、男女別） ・中高生の勉強場所の確保 ・いじめ対策 ・市民プールの学校活用 ・教育相談体制の強化（スクールカウンセラー配置等）
給食	・中学校給食の実施(5)

○生涯学習・スポーツ（２４件）

テーマ	意見例
生涯学習	・図書館施設・サービスの充実（敷地、蔵書、図書館施設数、トイレ整備、読み聞かせ場所）(7) ・納税者向け学習・スポーツプログラム（土日、夜間等） ・コミュニティセンター・公民館の利便性向上
文化	・文化的催し物の実施
スポーツ	・練習場所の確保 ・グラウンドの整備 ・ゆめパレアの美化 ・施設利用料金の抑制（市民と市民以外の区別等）

●信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○市民参加、市民協働（１４件）

テーマ	意見例
コミュニティ	・土着的・排他的な意識が強く、昔ながらの住民の意見が強い ・コミュニティ活動の拠点づくり ・市民会館の充実（美化、ホールの整備） ・町内会加入のための施策
市民参加・参画	・市民と行政の両輪でまちづくり ・参加のきっかけづくり、祭りの開催 ・市民意見を市長に伝え、反映する機会の充実

○行財政運営、議会（５３件）

テーマ	意見例
行政運営	・市役所位置の検討（高齢者には遠い、東向日周辺・イオン跡地等への移転、窓口など一部機能の支所化）（８） ・開庁時間の拡大 ・政策の順位づけ ・工事の無駄の削減
職員	・職員の意識改革（市民目線、笑顔の対応） ・電話対応の改善（３コールでとる） ・市民の中に入って意見交換
広域行政	・広域連携による行政運営の効率化を（一部事務組合の活用、乙訓や京都市との合併の検討）
財政運営	・ふるさと納税でまちのPR ・低コストの体質づくり ・民間の力の活用
広報	・広報の縮小（広報紙は希望者のみ、月２回は多い） ・若者に対する情報発信
議会	・議員数が多い（削減を）（５） ・投票率の向上 ・選挙看板の削減

○その他（３８件）

テーマ	意見例
まちづくり、市長、行政への期待・激励	・しがらみを捨てはっきりものが言える若い市長に期待 ・期待するまちの将来像（一人でも安心、にぎやか、国際化、気持ちよく暮らせる、独自性のあるまち、住みよいまち 等） ・まちづくりに頑張ってもらいたい、ずっと住み続けたい
イベント、キャラクター	・新たなイベント（激甘商店街 等） ・カラッキーについて ・商品券について（平等な入手の仕組み 等）
その他	・まちの地図がほしい ・アンケートについて（知らないので答えられない、結果を広報してほしい）（１０）

【都市基盤、産業等に多くの意見】

○回収した全アンケート 963 件に対し、435 件（45.1%）で自由意見欄への記載がありました。

○特に都市基盤（153 件）、産業（88 件）等への意見が多くなっています。特に都市基盤では物集女街道をはじめとする道路整備に対する意見が、産業では東向日駅周辺におけるイオンの撤退に関する意見が多くみられました。

（１件で複数の意見記述があり、分割すると 676 件の意見となっています。）

向日市まちづくり市民アンケート結果報告

発行／平成２８年３月

向日市

〒６１７－８６６５ 京都府向日市寺戸町中野２０

TEL：０７５－９３１－１１１１（代） FAX：０７５－９２２－６５８７

E-mail：kikaku@city.muko.lg.jp
